

スギ花粉症治療イネの隔離ほ場栽培

(栽培実験期間：平成24年度)

確認項目	確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について 本栽培実験は、(独)農業生物資源研究所(生物研)の隔離ほ場において隔離距離による交雑防止措置をとって行ったこと、生物研内の同種栽培作物までの距離が30m以上、生物研外の最も近いほ場との距離は750m以上であることを確認しました。
	○選定場所における風の影響について イネの開花期における栽培実験区画の推定平均風速の算出値が毎秒3mを超えないことを確認しました。
	○開花前の低温により交雑の可能性が想定される場合の措置について 交雑の可能性が想定されるような低温にはならなかったことを確認しました。
	○モニタリング措置について 交雑の有無について、モニタリング用の指標作物の種子を22,988粒調査した結果、交雑粒がなかったことを確認しました。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について 実験の種子については、密閉容器に入れ、他の種子と区分して管理を実施していることを確認しました。また、隔離ほ場では移植後、平成24年7月19日から栽培終了まで防鳥ネットを設置して、野鳥等の食害による拡散を防止したことを確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について 栽培実験区画内にて使用した機械等は同区画内で払い落としした後、隔離ほ場内の洗い場で洗浄したこと、被服等は栽培実験区画付近で払い落としを行ったことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について 収穫物については、密閉容器に入れ、他の収穫物と区分して、実験室冷蔵庫、隔離ほ場調査室保冷庫で保管していることを確認しました。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について 植物体は、焼却及び鋤込みにより不活化したことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて 平成24年度は後作を行いませんでしたが、平成25年度において平成24年度と同様にスギ花粉症治療イネを栽培する計画であることを確認しました。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について 計画書について、平成24年4月6日にプレスリリースにより公表したことを確認しました。また、同日に生物研のホームページに掲載されたことを確認しました。
	○説明会の開催等について 説明会を平成24年4月26日に開催したことを確認しました。説明会には41名の参加があったこと、見学については27件(435名)の受け入れを行ったことを確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について 説明会の開催を含め、本栽培実験の経過について、25件の情報が生物研のホームページに掲載されたことを確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について 本栽培実験における収穫後の処理等について、平成25年1月22日に生物研のホームページに掲載されたことを確認しました。また、本栽培実験の結果について、平成25年4月11日に別途開催した説明会において説明したことを確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	○栽培実験に係る管理体制の整備について 栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備していることを確認しました。

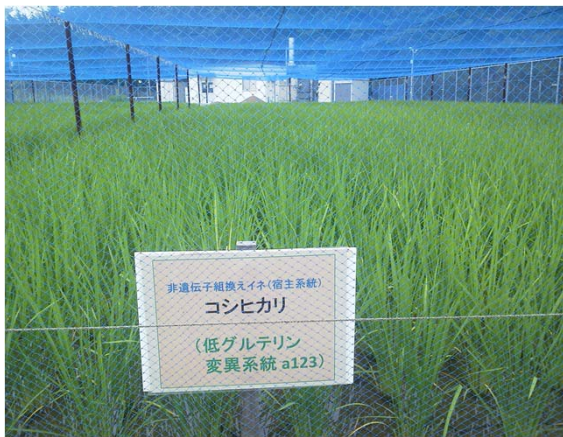
独立行政法人農業生物資源研究所 隔離ほ場



隔離ほ場外観
(平成24年7月24日撮影)



スギ花粉症治療イネ
(平成24年7月24日撮影)



非遺伝子組換えイネ (宿主系統)
(平成24年7月24日撮影)